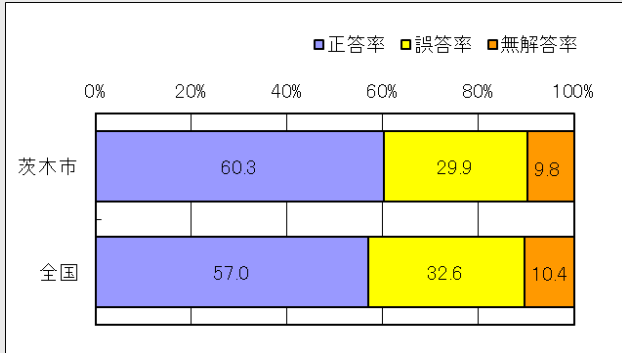


正答率比較

平均正答率は、全国を3.3ポイント上回った

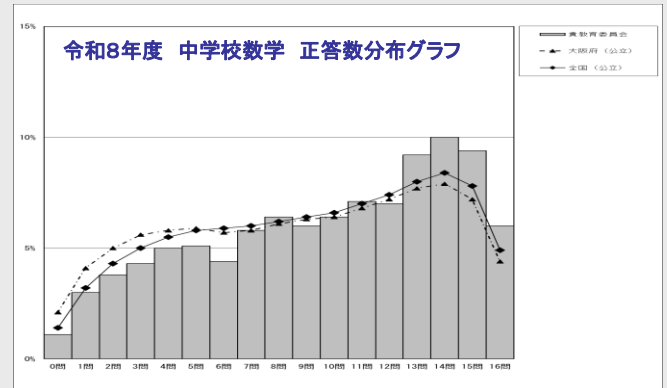
令和8年度 中学校数学 正答率等比較



- ◆ 全国の平均正答率が 57.0%であるのに対し、茨木市では 60.3%で、全国を 3.3 ポイント上回った。
- ◆ 誤答率については、全国より 2.7 ポイント低い。
- ◆ 無解答率については、全国より 0.6 ポイント低い。

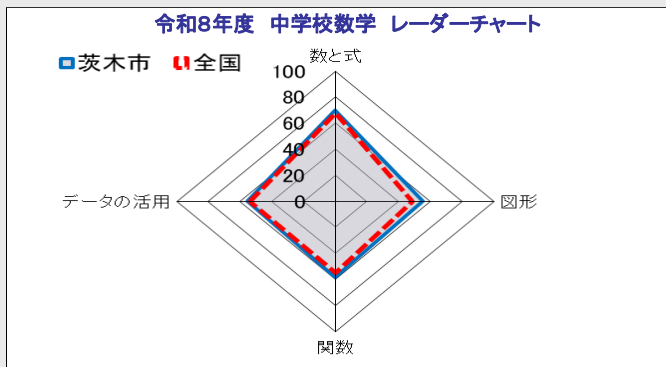
正答数分布

学力の分布は、正答数のやや多い側にかたよりのある山型である

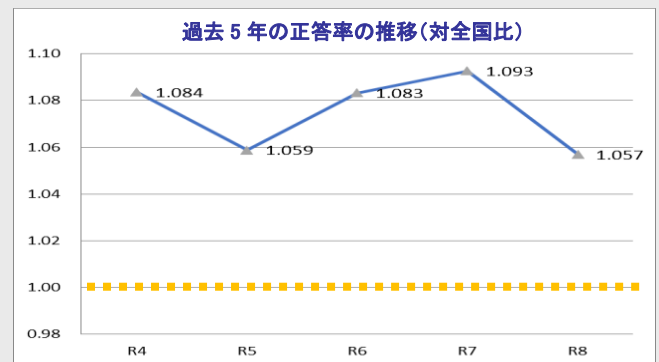


- ◆ 全国、茨木市ともに 14 問正解の生徒の割合が最も多い。
- ◆ 正答率 40%以下(0～6問正解)の生徒の割合は 26.7%である。(内 20%以下(0～3問正解)の生徒の割合は 12.2%)
- ◆ 正答率 80%以上(13～16問正解)の生徒の割合は 34.6%である。

領域別



正答率経年比較



課題があった設問

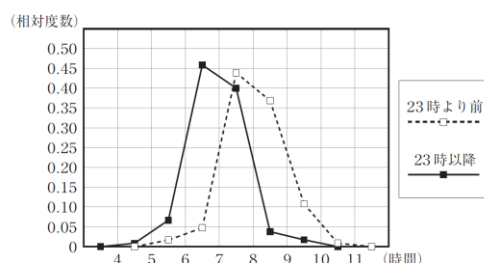
○「就寝時刻」が23時より前の生徒と比べて、23時以降の生徒の方が睡眠時間が短い傾向にある」と主張できる理由を、悠真さんが調べたことの二つの度数分布多角形の形と位置を比較して説明する(正答率 32.0%)

⑨保健委員の桃音さんと悠真さんは、自分たちの学校の生徒の睡眠時間の特徴について、保健だよりで報告することにしました。そこで、全校生徒 300 人を対象に、ある日の起床時刻と就寝時刻を調査し、睡眠時間を調べました。

- (3) 悠真さんは、就寝時刻で分けた場合について、各階級の相対度数を求めて度数分布多角形に表しました。

悠真さんが調べたこと

就寝時刻が 23 時より前の生徒・・・152 人
就寝時刻が 23 時以降の生徒・・・148 人



悠真さんが調べたことの二つの度数分布多角形を比較すると、「就寝時刻が 23 時より前の生徒と比べて、23 時以降の生徒の方が睡眠時間が短い傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、悠真さんが調べたことの二つの度数分布多角形の形と位置を比較して説明します。前ページの桃音さんのまとめを参考にして、下の説明を完成しなさい。

説明

したがって、就寝時刻が 23 時より前の生徒と比べて、23 時以降の生徒の方が睡眠時間が短い傾向にある。

(正答の条件)

次の(a)、(b)について記述しているもの。

- (a) 就寝時刻が23時より前の生徒の度数分布多角形と就寝時刻が23時以降の生徒の度数分布多角形が同じような形であること。
(b) 就寝時刻が23時より前の生徒の度数分布多角形より就寝時刻が23時以降の生徒の度数分布多角形の方が左側にあること。

(正答例)

・2つの度数分布多角形が同じような形で、就寝時刻が23時より前の生徒の度数分布多角形よりも、就寝時刻が23時以降の生徒の度数分布多角形の方が左側にある。

解 答 類 型		反応率 (%)	正答
1	(a)、(b)について記述しているもの	32.0	◎
2	(a)について記述し、二つの度数分布多角形の位置が異なることのみを記述しているもの	9.7	
3	(a)のみを記述しているもの	10.5	
4	(b)のみを記述しているもの	4.2	
5	(a)、(b)について、度数分布多角形を根拠にしているが、読み取りを誤って記述しているもの	0.9	
6	上記以外の解答	15.0	
7	無解答	27.7	

☆解答類型のうち、「2つの度数分布多角形が同じような形で、就寝時刻が23時より前の生徒の度数分布多角形と就寝時刻が23時以降の生徒の度数分布多角形がずれている」このように記述した生徒は、二つの度数分布多角形がずれていることには着目できているが、「○○の方が□□側にずれている」のように主張の根拠を明確にして表現できなかったと考えられる。

「度数分布多角形について、23時以降のグラフが前にある。」このように記述した生徒は、度数分布多角形の形には着目せず、位置関係のみに着目して説明しようとしたが、明確な根拠を示して説明できなかったと考えられる。

【この問題で求められている力】

データの傾向を的確に捉え、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基に説明する力

【数学についての今後の指導のポイントとして】

本設問を使って授業を行う際には、「就寝時刻が23時より前の生徒と比べて、23時以降の生徒の方が睡眠時間が短い傾向にある」と判断できる理由について、二つの集団のデータの分布の傾向を比較してその特徴を捉え、数学的な表現を用いて説明する活動を取り入れることが考えられる。その際、二つの度数分布多角形の形や位置関係に着目して、それらの分布の特徴について話し合う場面を設定することが考えられる。例えば、「2つの度数分布多角形は同じような形で、位置がずれている」のように、位置関係について「位置がずれている」とした説明を取り上げ、根拠として十分であるか検討することが考えられる。その上で、「2つの度数分布多角形が同じような形で、就寝時刻が23時より前の生徒の度数分布多角形よりも、就寝時刻が23時以降の生徒の度数分布多角形の方が左側にある」のように根拠を明確にして説明できるようにすることが大切である。